

海岸で捨てられたごみが
海のプラスチックごみ問題
を引き起こしているねんで。



こたえ **×**

「くらしとごみ」23ページの
コラムを見てみましょう。



コラム 海のプラスチックごみ問題

プラスチックごみを減らそう!

SDGsの1つ
14 海の豊かさを守ろう
を考えてみよう!



まちや山でぽい捨てされたプラスチックごみは、やがて風や雨で川に流され、海に流れ出ます。このように流れ出た海の中のプラスチックの重量は、2050年には、魚の重量を超えると言われています。特に、海の中で細かく砕かれたマイクロプラスチックを魚などが餌と間違えて食べてしまうことが問題になっています。

山も川も海もつながっているんやな。神戸は、山も、川も、海も、めっちゃきれいなところやから、大切にきれいにしていかなあかん!

「くらしとごみ」を勉強したら、ワケヘンもめっちゃええこと言うようになったやん!



マイクロプラスチック

プラスチックごみが、海の中で細かく砕かれ、5ミリより小さくなったものは、「マイクロプラスチック」と呼ばれています。

これより小さいサイズのもの
5ミリ 5ミリ



ぽい捨ては
ぜったい
だめですよ!

ここがポイント!



海 をきれいにするために、**私** たちに何ができるのでしょうか?



マイバッグやマイボトルを利用して、使い捨てプラスチックを減らそう!



ぽい捨てはやめて、きちんと分別しよう!



地域の清掃活動に参加して、まちをきれいにしよう!

みんなも参加できるイベントがいろいろ開催されているで!

- まちのクリーン作戦
- 海岸でのビーチクリーニング
- ごみ拾いをスポーツにした「プロギング」

など

みんなも
できること
考えてみて!

かせつ
するよ!



普通に考えたら、海岸のごみは海で捨てられたものと思ってしまうかもしれませんが、実は、海岸で捨てられたごみだけではないのです。まちや山などで、ぽい捨てされたり、正しく捨てられなかったごみが、雨や風で流されて川をつたって、海に出ていきます。ペットボトルやレジ袋に加え、海岸で捨てられたとは思えないような、洗濯バサミやプラモデルなども流れついています。海岸をきれいにするだけでなく、まちや山でごみのぽい捨てをしないことも海をきれいにするにつながっています。